

乗り越え、異なる事業を次々と起こしてきた。 貧農の家の長男として生まれ、さまざまな困難を 駆け抜けたリコー三愛グループ創業者・市村清。 1900年に生を受け、20世紀を疾風のように でつづります。 そのアイデアと努力で闘い続けた生涯を、まんが

すぎうらサイキ・画

ために野菜を売る 家計を助ける 道で旧友たちに 出会うのは つらかった そんな中 独学で勉強を 続ける決心を

する

多く





























私にかわって

どうです

ある日、

やってみませんか 感光紙の代理店を













理研特殊製鉄㈱





1936年2月6日





創設。専務取締役に いくつも兼任することになる 以降、理研関係の重役を 理研感光紙株式会社(後のリコー)を 大河内所長の再度の好意で (この日がリコーの創立記念日) 株畑製作所 理研科学映画株 飛行機特殊部品株 旭光学工業㈱ 理研重工㈱ 理研ピストンリング株 理研感光紙㈱ 理研コランダム株 日本文具株 理研閃光板㈱ 富国工業㈱ またまた 兼任 兼任 兼 兼

銀座だ

4丁国の 角がいい











周囲の嫉妬は止まず、衝突が続いた 警察へも通報されていた 市村に任されることになったが 市村の事情が理解され 市村の不審な行動は 大河内所長の計らいで 感光紙部」の一切が まず「三愛」を設立することを決める 終戦前夜の重役会で、 市村は「三愛精神」を掲げ 1945年、 「サービス業への進出」 敗戦

何かを

散々考えた末

無為」という手を思い

つく

しようと

すれば

足をひっぱ

られる

戦後の方針は に決定











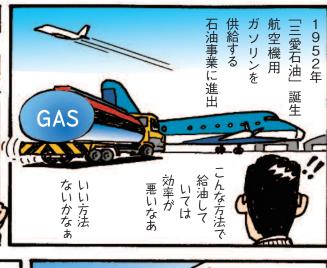


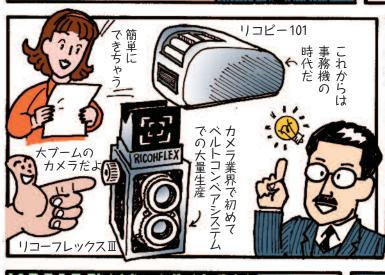




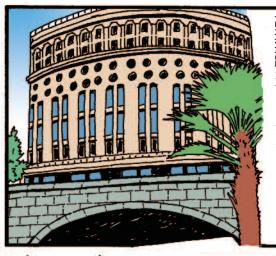








告に隅々まで目を通す。特にアメリ は商品の流行を知るために新聞の広 事情の視察旅行へ。 カでの収穫は大きかった 1955年以降、 毎年のように欧米 ホテルの部屋で 高速道路がつくられた 西銀座の数寄屋橋の堀も埋め立てられ 1955年頃



日本初のショッピングセンター 1958年、高速道路下に市村の努力で 「西銀座デパート」が誕生

などがヒット商品となる 新製品を次々と発表 その後、 リコー時計」 社名変更し、 十九石ハミングカレンダー 三十三石ダイナミック・ 「リコーエレメックス」と 現在に至っている と社名を変更し ハミングカレンダ・



















1968年12月12日

享年68歳

1968年12月16日、

逝去

「人を愛し

国を愛し

勤めを愛す」に

徹した生涯であった

私はきのうまで病床に伏せていたのですが この運動会は私自身がぜひやりたいと 言い出したものですから、やってきました 全社員の皆さん、そのご家族の皆さんと 一堂に会するのが私の念願でした



合同運動会に。これ リコー三愛グループ 最後の姿となった が社員たちに見せた 1968年11月5日

佐賀県体育館を寄贈

1963年

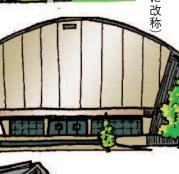
「人々の役に立ちたい」その思いは事業にとどまらなかった



母校北茂安小学校に 講堂を寄贈 1958年



親しまれる



日本庭園が完成 マイアミ市に寄贈される 1961年 「イチムラパーク」として

完